

(様式－１)

令和〇年〇月〇日

国土交通大臣 殿

一般社団法人建設業団体
会長 国土太郎

令和7年度優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者について

下記の建設技能者は、建設事業の第一線にあって業務に精励し、常に技能・技術の向上に務め、他の模範となる者でありますので、優秀施工者として国土交通大臣の顕彰を賜われますよう関係書類を添えて推薦いたします。

なお、提出書類に虚偽がないこと及び他の推薦団体の候補者となっていないことを証明いたします。

記

候補者氏名	建設 太郎
	土木 次郎
	建物 建郎

優秀施工者国土交通大臣顕彰案本表

整理番号						最終的な推薦団体の職員の連絡先を記載（候補者所属会社職員や、	
0. 推薦団体名 (団体・都道府県・地方整備局等名)		(一社)建設業団体					
推薦団体 担当者	ふりがな	すいせん はなこ		所属部署	総務部		
	氏名	推薦 花子		TEL	03 (XXXX) XXXX		
	E-mail	XXXXXXXXXXXX@XX.XX					
1. 候補者に関する事項							
ふりがな	けんせつ たろう		住民票が「郎」だが本人が「郎」を希望している場合等、 住民票と異なる字体を希望する場合のみ該当する字を赤字に変更 ※それ以外の場合は、住民票で確認できる字体を優先				
氏名	建設 太郎		(本人が住民票と異なる字体を希望している文字は赤字に変更)				
生年月日	昭和37年10月1日	年齢	満 63歳	(令和 7年 2月撮影)			
現住所	(〒XXX-XXXX) ○○県□□市××1丁目1-1△△マンション101						
TEL	XXX (XXX) XXXX					都道府県から記入	
主たる担当職種	とび工	CCUS登録状況	登録済(ゴールド)	とび			
最終学歴	職		歴				
昭56年3月 ○県立××高校普通科 卒業	在職時期		在職期間		会社・職名		
	自	至	現場業務従事期間	工事施工期間			
	S58.4.1	S59.1.31	0年10月	8年8月	8年8月	株式会社○販売 事務員	
	S59.2.1	H4.9.30	8年8月	8年8月	8年8月	□建設株式会社 作業員	
	H4.10.1	H11.3.31	6年6月	6年6月	6年6月	" 作業主任	
	H11.4.1	H14.3.31	3年0月	3年0月	3年0月	" 職長	
昭58年3月 △△専門学校□□学科卒業	H14.4.1	R6.10.1	22年6月	22年6月	22年6月	○×建設株式会社 職長	
期間合計		41年6月	40年8月	40年8月	(現職については、令和5年10月1日をもって終期とすること)		
2. 所属会社に関する事項(個人事業主も記載)							
ふりがな	○○○けんせつかぶしがいしゃ						
会社名(名称)	□□建設株式会社		業種	とび・土工事業			
本社所在地	(〒XXX-XXXX) ○○県○市××1丁目1-1△△					直近決算で完成工事高が最も多い建設業法上の許可業種1業種を選択	
TEL	XXXX (XX) XXXX						
候補者所属部署 (住所・TELは本社と異なる場合のみ記入)	部署名	○○支店工事部					個人事業主以外は部署名を必ず記入
	(〒XXX-XXXX)	○○県□□市××2丁目1-1△△					
	TEL	XXXX (XX) XXXX					住所・TELは本社所在地と同じ場合は記入不要
加入団体	一般社団法人○○○協会、○○○事業協同組合						

(注1) 整理番号欄は何も記入しないこと。
(注2) データ送付の際のファイル名は、「団体名 マスター 候補者名(ひらがな表記)」とすること。
(例：(一社)建設業団体 マスター けんせつたろう)

様式3-2の一覧以外の関係資料については、資料番号を任意で付してください。

推薦基準調書

推薦基準	推薦事由・根拠	関係資料
1 技能・技術が優秀であること	候補者〇〇〇〇は鉄骨、機械据付、仮設等のとび工に係る工事に幅広く携わり、〇〇資格の取得など自己研鑽を積み、永年の職務従事により培った知識・技能を有しており、特に、下記の技能に優れている。	様式3-2 資料1
2 ①技術開発、施工の合理化を図り顕著な成績を挙げていること ②建設工事に相当の実績があること	<p>・△△ホテル新築工事において、荒天が続いたことから工期が厳しい状況にあり、また△△ホテル周辺に〇〇があったことから通常の××での施工ができなかった。候補者〇〇〇〇は通常の××に変えて、新工法の〇〇工法による施工を行うことを提案し、また周囲の環境対策のため〇〇に××を取り付けることを提案し、効率性、安全性の向上に貢献した。当該提案は、□□建設株式会社のQCサークル発表会において優秀提案賞を受賞した。</p> <p>建設機械の設備等の発明・改良、工法の発案・導入・改善、作業上の工夫等候補者が行ったことを具体的に記入してください。詳細や図等は別紙とし、任意の資料番号を付してください。 特に、以下の場合はその旨記載し、証明資料を添付 ・工法の発案等が特許・実用新案登録等されている場合 ・QCサークル入賞等されている場合</p> <p>大型民間建築工事に数多く従事し、〇〇プロジェクトにおいては、〇〇組職長会会長を務めている。</p> <p>候補者がこれまでに大規模な工事、著名な工事、難度の高い工事、公共性の高い工事等に従事した場合や特別な役割を果たした工事等について記載してください。</p>	資料2～5 様式3-3 資料6
3 後進の指導育成に努めていること	<p>・候補者は技能検定補佐委員・技能検定委員として活躍し、その貢献により〇〇県職業能力開発協会より表彰を受けている。</p> <p>・候補者は社内の後進に対し、1級技能士の資格のための技能指導を行い、これまでに〇名を合格させた。</p> <p>・近年取り組まれるようになった〇〇作業において社内の後進にその作業手順を周知するため作業の標準手順書の作成を行った。</p> <p>これまでの後進の指導育成に関する実績や、行っている指導育成の具体的な内容等を踏まえて記載してください。</p>	様式3-2 資料7
4 工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること	<p>・候補者は安全・衛生の向上のため、社内で安全〇〇講習の指導に当たるとともに、日頃から〇〇点検を行い事故の防止に努めている。</p> <p>安全・衛生の向上に関して実際に行っていること等を記載してください。</p>	様式3-2
5 他の建設現場従事者の模範であること	<p>・平成〇〇年より毎年ボランティアとして〇〇を行い、地域に貢献している。</p> <p>建設業との関連の有無を問わず、他の現場従業者の模範となることを示してください。</p>	様式3-2

様式 3-2 推薦基準調書添付書類一覧 の記入例① (CCUS ゴールドカード保持者)

候補者氏名 (建設 太郎)

資格・免許等一覧 (A)		資料番号
取得時期	資格・免許名称	
令和 5 年 7 月	CCUS ゴールドカード取得 (とび)	A-1
平成元年 3 月	職長・安全衛生責任者教育修了 (顕彰基準 4 関係)	A-2
平成 1 8 年 8 月	職業訓練指導員 (とび科) 免許	A-3

職長・安全衛生責任者
教育修了は要記載

CCUS ゴールドカード取得の旨記載
(他の技能系資格は記載不要)

安全衛生、指導関係の
資格は記載する。

資格者証等の
コピーに資料
番号を付する

(注) 建設キャリアアップシステム (CCUS) ゴールドカード保持者及び登録基幹技能者は、当該者である旨の記載と資格者証の写しを提出すれば、他の取得資格・免許の記載は不要です。

技能競技大会等入賞歴 (B)			
実施時期	大会名称・部門	順位	資料番号
平成 5 年 8 月	第〇回△△県鳶技能競技大会	1 位	B-1

表彰等一覧 (C)			資料番号
表彰等時期	表彰等名称		
平成 5 年 1 0 月	〇×建設 (株) 安全協力賞		C-1
平成 1 5 年 6 月	〇〇県建設業協会会長賞		C-2
平成 2 1 年 4 月	□□建設株式会社永年勤続表彰		C-3
平成 2 2 年 1 0 月	〇〇県優秀技能者表彰		C-4
平成 2 4 年 2 月	△△市感謝状 (消防団)		C-5
平成 2 7 年 9 月	〇〇県職業能力開発協会表彰状		C-6

賞状等のコピーに
資料番号を付する

建設業関係以外の表彰も
記載

(注) 建設ジュニアマスター 被顕彰者は上記 C に必ずその旨を記載すること。

指導経験一覧 (D)				
時期		名称	実施機関	資料番号
自	至			
平成 1 5 年 4 月	平成 1 8 年 5 月	〇〇組合新規入職者講習講師	〇〇組合	D-1
平成 1 9 年 4 月	平成 2 0 年 3 月	〇〇職業訓練校講師 (とび科)	〇〇職業訓練校	D-2
平成 2 0 年度	平成 2 5 年度	とび技能検定補佐員	〇〇県職業能力開発協	D-3
平成 2 6 年度	平成 2 8 年度	とび技能検定委員	〃	D-4

委嘱状等のコピーに資料
番号を付する。

様式 3-2 推薦基準調書添付書類一覧 の記入例② (CCUS ゴールドカード保持者以外)

候補者氏名 (建設 太郎)

取得時期		資格・免許等一覧	資料番号
昭和58年4月		玉掛け技能講習	A-1
昭和60年4月		ロープ高所作業特別教育	A-2
平成元年3月		足場の組立て等作業主任者技能講習	A-3
平成3年10月		職長・安全衛生責任者教育終了	A-4
		とび(とび作業)1級技能士	A-5
		2級建築施工管理技士	A-6
		職業訓練指導員(とび科)免許	A-7

職長・安全衛生責任者教育修了は要記載

特別教育の修了等は能力評価のレベルを確認するのに必要な場合のみ記載

技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの資格も記載する。

資格者証等のコピーに資料番号を付する

(注) 建設キャリアアップシステム(CCUS)ゴールドカード保持者及び登録基幹技能者は、当該者である旨の記載と資格者証の写しを提出すれば、他の取得資格・免許の記載は不要です。

技能競技大会等入賞歴 (B)			
実施時期	大会名称・部門	順位	資料番号
平成5年8月	第〇回△△県鷹技能競技大会	1位	B-1

表彰等一覧 (C)			資料番号
表彰等時期	表彰等名称		
平成5年10月	〇×建設(株)安全協力賞		C-1
平成15年6月	〇〇県建設業協会会長賞		C-2
平成21年4月	□□建設株式会社永年勤続表彰		C-3
平成22年10月	〇〇県優秀技能者表彰		C-4
平成24年2月	△△市感謝状(消防団)		C-5
平成27年9月	〇〇県職業能力開発協会表彰状		C-6

(注) 建設ジュニアマスター 被顕彰者は上記Cに必ずその旨を記載すること。

指導経験一覧 (D)				
時期		名称	実施機関	資料番号
自	至			
平成15年4月	平成18年5月	〇〇組合新規入職者講習講師	〇〇組合	D-1
平成19年4月	平成20年3月	〇〇職業訓練校講師(とび科)	〇〇職業訓練校	D-2
平成20年度	平成25年度	とび技能検定補佐員	〇〇県職業能力開発協	D-3
平成26年度	平成28年度	とび技能検定委員	〃	D-4

委嘱状等のコピーに資料番号を付する。

様式 3-3 工事経歴書の記入例

候補者氏名 ()

工事期間		工事名 (現場名)	担当職務	当時の役職	備考
自	至				
H20.10	H22.1	△△ビル新築工事	鉄骨組立作業 仮設工事 (施工・現場指揮)	職長	(株)○○ 建設 × × 支店長表彰
H23.2	H25.8	○○ホテル新築工事	〃		
H25.11	H28.3	××河川砂防ダム工事	〃		難工事指定

個別施工に対する表彰や、工事対象が文化財等である場合などは備考に記載

(注) 候補者の代表的な工事を記入する。

会 社 概 要 調 書

※個人事業者は不要

令和●●年●●月●●日 現在

会 社 名	□□建設株式会社
設 立 年 月 日	昭和44年7月1日
資 本 金	20百万円
代 表 者 名	代表取締役社長 ○○ ○○
役 員 数	3名 (監査役を除く)
従 業 員 数	20名
支 店 所 在 地	△△県に2箇所、××県に1箇所
直近1年間の業績	完成工事高 500百万円 自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日
営 業 種 目	1 とび・土工事業 2 建築工事業 3 土木工事業
備 考	会社の変更内容等 昭和3年5月 とび工事業□□創業 昭和30年4月 □□工業に名称変更 昭和44年7月 □□建設株式会社に組織変更

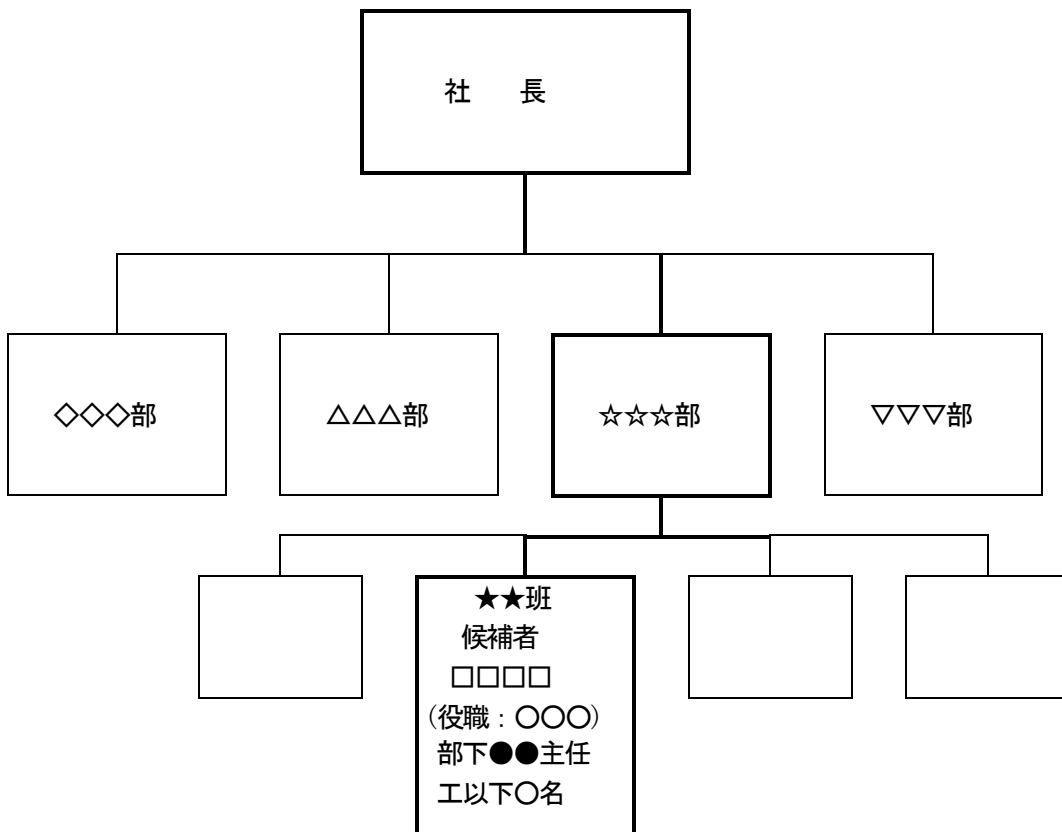
1位は、様式-2の「2. 所属会社に関する事項」の「業種」と一致

建設業法上の許可業種(29業種区分)のうち、直近の決算における完成工事高の多い順に上位3業種まで記入。

組 織 図

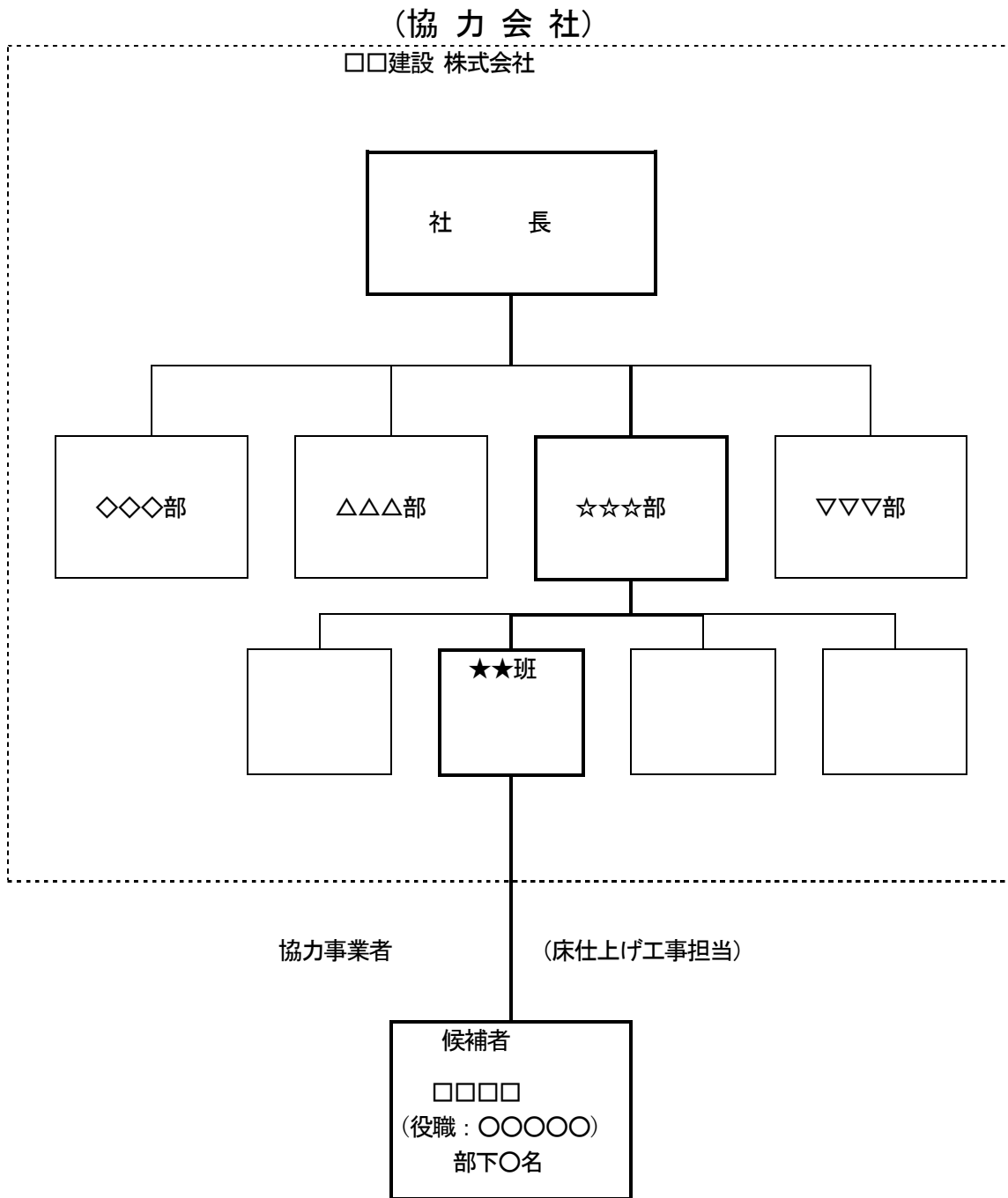
(候補者が建設会社に所属している場合)

(□□建設株式会社)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。
組織の部署を図示し、候補者に関する系統は太字で表すこと。
候補者の部下数も記入すること(部下がない場合は「部下なし」と記入)。

組 織 図
(候補者が個人事業者の場合)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。
組織の部署を図示し、候補者に関する系統は太字で表すこと。
候補者の部下数も記入すること (部下がない場合は「部下なし」と記入)。

(様式-6) 無事故証明書及び刑罰等確認書

候補者氏名 建設 太郎

生年月日 昭和37年 10月1日

無事故証明書

上記の者は、建設現場業務において常に安全・衛生に万全を期しており、30年5ヵ月間（平成6年10月～令和7年2月）にわたって、自己責任上の事故をおこしていないことを証明いたします。

令和〇年〇月〇日

(記入例1) 〇〇建設株式会社
代表取締役 × × × ×

(記入例2) 一般社団法人〇〇県△△業協会
会長 ▽▽ ▽▽

刑罰等確認書

刑罰等の有無

無

有

上記事項に相違ないことを確認しました。

令和△年△月△日

一般社団法人建設業協会

会長 ▽▽ ▽▽